

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
〒272-0023  
市川市南八幡1-17-15  
TEL 334-1111

■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## コミュニティ・スクール研究校で第1回学校運営協議会が開催

平成29年4月22日(土)の塩浜学園を皮切りに、第1回学校運営協議会がコミュニティ・スクール研究校で開催されました。平成29年度の研究校(18校)は次の通りです。

- 第一中ブロック [市川小学校/国府台小学校/中国分小学校/第一中学校]
- 第四中ブロック [中山小学校/若宮小学校/第四中学校]
- 第六中ブロック [鬼高小学校/稲荷木小学校/第六中学校]
- 第八中ブロック [平田小学校/鶴指小学校/大和田小学校/第八中学校]
- 福栄中ブロック [南新浜小学校/福栄小学校/福栄中学校]
- 塩浜学園 (平成28年度より継続)

コミュニティ・スクールとは“学校運営協議会”を設置している学校を指します。学校運営協議会とは、家庭・学校・地域がともに手を携えて学校運営に参画し、一体となって質の高い教育を提供し、“地域とともにある学校”づくりを目指す仕組みです。市川市では、今後すべての公立幼稚園・学校に学校運営協議会を設置して、学校運営の一層の充実を図ってまいります。

\*市川市の取組については、下のコラムも合わせてご覧ください。

### 《委員の構成》



\*その他教育委員会が適当と認める者

【教育政策課】



### 研究校における学校運営協議会の様子

第1回目の協議会では、「学校運営についての基本方針の承認」が大きなテーマであったため、校長の説明のもと、委員の方々が広く意見を交わしました。学校と家庭・地域のつながりをより強化し、子供たちの成長を支えて下さる委員の方々の思いのもと、各研究校において学校運営の基本方針が承認されました。



### 【第1回学校運営協議会 協議内容】

- ①学校運営協議会の活動について
- ②平成29年度学校運営についての基本方針の承認及び意見
- ③地域学校協働本部について

### ～学校運営協議会での意見交換より(抜粋)～

- ・あたたかく見守って下さる校長先生のもと、子供を通わしているのは安心である。
- ・私たちが校長先生のためにいろいろと学校に関わりを持ち、サポートしていきたい。
- ・地域の子供たちのために積極的に声をかけていきたい。
- ・学校運営協議会を保護者や地域住民へ、より具体的に示せるとよい。
- ・小中9年間の連続した学びが展開できるように応援していきたい。

家庭・地域とのつながりは“宝”であり、家庭・地域の力は“偉大”である  
子供の成長を支えるには、大人同士のつながりが大切 → その基盤が学校運営協議会

## 776 国の制度改革と市川教育⑦

### ～学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)と市川市の取組～

本年3月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、この4月から、全国すべての公立学校に「学校運営協議会」を置くことが努力義務化されました。地域との連携・協働による学校運営の改善を目的とする本制度の概要と成果、そして市川市の取組を紹介します。

#### ○制度の概要

「学校運営協議会制度」は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる『地域とともにある学校』に転換するための仕組みで、主に以下の4つの機能があります。そして、この学校運営協議会を設置している学校のことを「コミュニティ・スクール」と言います。

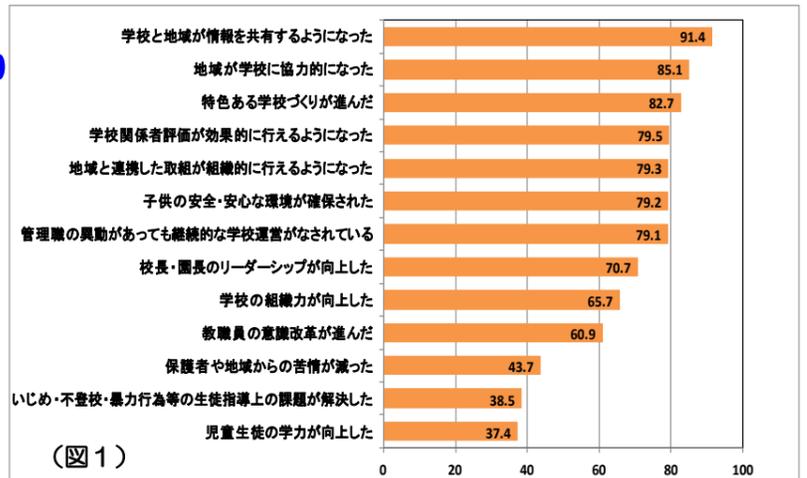
- ◆学校運営の基本方針の承認
- ◆学校運営に関する意見
- ◆教職員の任用に関する意見
- ◆学校と地域住民等との連携・協力の促進

#### ○取組の成果

コミュニティ・スクールを導入した学校では、地域連携に関する成果のみならず、教職員の意識改革や、学力向上・生徒指導の課題解決にも成果を上げています。(図1参照)

#### ○市川市の取組

市川市では、この法律に基づく学校運営協議会が制度化されるずっと前の昭和55年度から、名称や仕組みを変えつつも、学校と地域とが連携協力する事業を推進してきました。そして今回の法律改正による努力義務化も踏まえ、法律に基づく「コミュニティ・スクール」を、平成33年度を目途に市内すべての公立学校で導入することとしています。現在は、昨年度から導入している「塩浜学園」に、今年度



(図1)

出展「コミュニティ・スクールの実態と校長の意識に関する調査」(平成27年度文部科学省委託調査)

から導入した17校を加え、計18校で「コミュニティ・スクール」が導入されています。市川市の歴史ある学校・地域連携の強みを生かし、学校だけでは解決できない教育課題を地域の方とともに考え、社会総がかりで子供たちの健やかな成長を支える市川市の『地域とともにある学校』をさらに推進していきたいと考えています。

#### 【教育次長】

「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」の詳しい情報はこちら(文部科学省ホームページ)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/community/](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/)

教育委員会や学校に勤務する2年目の職員を対象とした「市川市新規採用教職員等研修会」の第1回が、6月1日(木)、市川教育会館を会場に開催されました。この研修会は、教育委員や教育長、教育次長をはじめとする講師の方々と交えて、それぞれの職務を振り返り、グループで意見交流を行うものです。意見を交換し合うことで、日々抱える課題へのよりよい取組方を考えたり、市川の教育について理解を深めたりすることを目的としています。

参加者は、採用されてからこれまでを振り返り、喜びを感じたこと、成果のあったこと、困ったこと、課題に感じていること等に

## 市川市新規採用教職員等研修会

ついて意見を出し合いました。異なる職種、異なる校種の参加者の話を聞くことで、新たに視野を広げる機会にもなりました。講師の方々は、事前に参加者のレポートを丁寧に読み、一人一人の発表にメモを取りながら耳を傾けてくださいました。また、豊富な経験をもとにした的確な助言は、参加者の課題解決の糸口となり、今後に生かせる視点を与えてくださるものでした。

参加者の発言からは、これまで、それぞれが真摯に仕事に向き合ってきた成長の跡が感じられました。この研修会での有意義な交流が参加者の新たな活力となり、それぞれの職務へ、さらに邁進されることを期待しています。  
【指導課】



## 新教育委員紹介

島田由紀子氏が、今年度より教育委員に就任されました。島田委員は現在、和洋女子大学教授としてご活躍されています。



教育委員就任にあたり、「未来を担う子供たちが楽しく学びながら心と体が健やかに育まれるよう、また文化と伝統のある市川市ならではの芸術文化活動等を通じて、誰もが充実した日々を送ることができるよう微力ながら努めてまいりたいと思います」と、抱負を述べられました。【教育センター】

6月6日(火)宮田小学校5年生の児童を対象に、夢の教室が開かれました。今回の夢先生は、国内外で活躍されているプロサッカー選手の柴村直弥さんです。

## 宮田小 夢の教室 開催

前半は、体育館で柴村選手と一緒に体を動かしながらの「ゲームの時間」です。「10歩進んでも、全員が一直線に並ぶにはどうするのかな」と、繰り返し作戦会議を開きます。次第に、柴村選手の周りに集まる子供たちから、「みんなで肩を組んで歩いてみよう」といった活発な意見が出てきたり、ゲーム中に友達の歩数を大きな声で数えたりするなど、活動を通してチームワークが高まっていきました。



後半は、教室に場所を移しての「トークの時間」です。5年生の時にプロサッカー選手になる夢を持った柴村選手。その夢を叶えるまでに、人よりも多くの練習を積み重ねたことや、試合に出られなくても希望を持ち続けたことを話してくれました。「どんな状況でも、一日一日を大切に。毎日を精いっぱい過ごしてください」という柴村選手の言葉に、子供たちは大きくうなずいていました。  
【教育センター】

市川市放課後保育クラブは、保護者等が就労等により昼間家庭にいない小学生の放課後等において、家庭にかかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として、市内46ヶ所(全小学校と義務教育学校の計39校と、一部の地域ふれあい館や公民館)に開設しています。また指定管理者制度により、社会福祉法人市川市社会福祉協議会が運営を行っています。

保育クラブに帰ってきた子供たちは、支援員のもとで宿題を

## 市川市放課後保育クラブについて

したり、友達と遊んだり、おやつを食べたりして過ごします。他にも保育クラブごとに遠足やお誕生会等のイベントも催されています。

入所の要件、必要書類等の情報は、市川市公式Webサイト内、青少年育成課のホームページでご案内しています。新年度の入所受付は、例年11月下旬頃より開始いたします。詳細が決まり次第、11月上旬より広報・市川市公式Webサイト等でお知らせいたします。

年度途中の申請は毎月15日締切、翌月1日入所となっております。青少年育成課窓口へ直接必要書類を提出いただきます。定員に余裕のないクラブもありますので、詳しくは青少年育成課までお問合せください。047-383-9419  
【青少年育成課】



## 歴史博物館開館35周年記念 企画展「浮世絵の世界と市川」を開催

とねがわとうがんにちらん

里見公園や市川公民館に「利根川東岸式覽」という浮世絵の複製が飾られているのをご存知でしょうか。この絵は、玉蘭齋貞秀という人物によって描かれた地獄的な風景画で、当時の市川市域の景観とともに、地名や名所、名産といった情報も描かれています。歴史博物館では、開館35周年記念企画展として、この「利根川東岸式覽」を中心に、当時の様子を知ることのできる関連資料を紹介いたします。また、この企画展開催に合わせて、お子さま向けのイベントも開催いたします。

期間：7月16日(日)～9月3日(日)  
休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)  
場所：歴史博物館2階特別展示室

### お子さま向けイベント

☆舟型の紋切りをつくろう 対象：5歳以上  
自分で作った紋切り模様を、木製のうちわに貼ってプレゼント  
毎週土曜日 13:30～15:30  
(8月19日をのぞく)

☆べか舟に乗ろう 対象：未就学児  
期間限定で歴史博物館入口にあるべか舟に乗って記念撮影ができます。  
毎週土曜日 14:00～15:30  
(8月19日をのぞく)

☆子ども向け展示解説 対象：小学校3年生以上  
企画展の内容を学芸員が解説します。解説シートも配付しますので、自由研究にぜひ！  
8月2日～4日・19日 10:30～12:00  
(047-373-6351)  
【歴史博物館】

# むし歯予防大会 開催

6月7日(水)に「第43回市川市むし歯予防大会」が開催されました。各小・中学校、義務教育学校、特別支援学校で、健歯(むし歯がなく歯並びも良い)に選ばれた代表の児童・生徒の審査会が開かれ、審査の結果、健歯の入賞者が決まりました。また、歯科衛生作品(図画・ポスター)に入賞した児童の表彰も行われました。

入賞者の皆さんの様子はとても嬉しそうでした。おめでとうございます。

また、表彰式の前に、市川市歯科医師会の学校歯科医の先生から、「薬物乱用防止について」お話をいただきま

した。歯との結びつきは遠いようにも思いますが、「悪い習慣がつくとなかなかぬけ出せないこと」「良い習慣を身につけ、歯の健康を保つことは、健康の維持にもつながっていくこと」と、お話がありました。

表彰式は、入賞者の健歯・図画・ポスターの映像の流れる中で、執り行われました。

これからも、食事後の歯磨きをしっかりと行い、口の中をきれいに保つようにして、むし歯を予防していきましょう。

【保健体育課】



# おめでとう! 優秀賞受賞者一覧

部門	学校名	学年	氏名
健歯児童 小学校 6年	男子	大野小学校	6年 畔柳 十歌
		妙典小学校	6年 上山 正太
		鬼高小学校	6年 森山 叶太
	女子	鬼高小学校	6年 張 雨彤
		妙典小学校	6年 岸 仁美
		幸小学校	6年 吉田 海玲
健歯生徒 中学校 3年	男子	第六中学校	3年 齋藤 圭輔
		第八中学校	3年 高崎 悠太
		第三中学校	3年 中井 滉基
	女子	福栄中学校	3年 小川 あゆみ
		東国分中学校	3年 仁木 翔鈴
歯科衛生 図画の部	北方小学校	2年 田中 千晴	
	国分小学校	1年 手島 嘉希	
歯科衛生 ポスターの部	八幡小 須和田の丘 支援学校 (小学部)	5年 加納 稜大	
		3年 原口 紫苑	
		3年 粕谷 向日葵	
		3年 仁科 野々花	
		3年 赤間 琥斗羅	
		3年 井上 拓実	
		3年 有馬 開	
		他 1名	

市川市こども作品展・新聞展では毎年、各園・学校で選ばれた2,400点を超える図工・美術、技術、家庭、書写、新聞等の作品が展示されます。昨年見に来た子供たちからは、「楽しかった」「すごかった」大人たちからは、「一人一人が個性的」「技術の高さにびっくり」「子供たちの頑張りが伝わってきて感激した」と500通もの感想が寄せられました。

# 楽しい!感動!個性あふれる作品が大集合! 市川市こども作品展・新聞展



何度も足を運ばれた方もいて、延べ9,600人を超える市民の方々が来場してくださいました。

市内幼稚園や小・中学校、義務教育学校、特別支援学校では、生活や学習の中で、日々制作に取り組んでいます。「来年の参考になった」と目を輝かせていた子供たち。今年はどんな作品に挑戦するのでしょうか。

今年も是非とも市川市文化会館にお越しいただき、感性豊かな市川市の子供たちの作品をお楽しみください。

日時: 11月16日(木)~19日(日)  
午前9時30分~午後5時

会場: 市川市文化会館地下展示室・大会議室  
【指導課】

# 博物館の夏といえば! 第9回 博物館サマーフェスタを開催!!

緑豊かな堀之内貝塚と考古博物館・歴史博物館が贈る、子供から大人まで楽しみながら学べる体験型イベントを開催します。予定されているイベントは、火おこし体験や勾玉づくり、竹の水鉄砲づくりなどです。保護者が同伴であれば、幼児の体験が可能です。夏休み期間中の開催となりますので、多くの方々の参加をお待ちしています。

また、夏休み期間中(8月27日まで)、小学校3年生までが参加できる「博物館スタンプラリー」も開催しております。あわせてお楽しみください。

1. 日時 平成29年8月19日(土) 午前10時から午後2時  
※雨天の場合は、考古・歴史博物館内にて縮小開催となります。
2. 会場 考古博物館・歴史博物館・堀之内貝塚公園  
北総線「北国分駅」より徒歩8分  
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
3. 内容 火おこし体験・勾玉づくり・組紐(くみひも)ストラップづくり・竹細工  
お手玉・竹の水鉄砲づくり(事前予約制)・その他、昔のあそびも開催予定  
※都合により、一部内容が変更になることがあります。  
※勾玉づくりのみ材料費(300円)が必要となります。
4. 問い合わせ 市川考古博物館・市川歴史博物館  
※暑くなることも予想されますので、飲み物や汗拭きタオル等は各自ご持参ください。

◆竹の水鉄砲づくりの申し込み方法◆  
往復はがきに、「水鉄砲づくり希望」と明記し、参加者の住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号・保護者氏名、返信用あて先をご記入の上、7月27日(木)まで(消印有効)に歴史博物館(〒272-0837堀之内2-27-1)へ。  
応募多数の場合、抽選になることがあります。  
開始時間等、詳細は返信用はがきにてお伝えします。 【考古・歴史博物館】

# 使用教科書展示会

平成29年度使用教科書 小・中学校・義務教育学校 全教科  
特別支援学校・支援学級用一般図書  
平成30年度使用教科書見本 小学校 道徳科  
特別支援学校・支援学級用一般図書

日時: 7月21日(金)~8月31日(木)  
午前10時~午後5時  
※毎週月曜日と館内整理日(7月28日(金))を除く  
場所: 市川市生涯学習センター3階 文学ミュージアム資料室



この「教育いちかわ」はWebサイトでもご覧いただけます。「教育いちかわ」で検索、または市川市教育委員会のWebサイトからアクセスしてください。(「教育いちかわ」のバックナンバーも掲載しています。)

# 自由研究におすすめ！ 歴史博物館 夏の体験学習

「市川の昔のことを調べてみたい」「歴史をテーマに自由研究をやってみよう」という方は、歴史博物館で実施している夏の体験学習に参加してみませんか。学芸員が自由研究のお手伝いをいたします。

## ◇歴史地図作り

学芸員と一緒に市内の史跡を巡り、いちかわ歴史マップを作ってみよう。コースに合わせた解説資料と一緒に、歴史地図の作り方も配付します。

日時、場所等：8月3日(木) 行徳編 集合場所【行徳駅改札前】  
常夜灯や笹屋うどんなどを巡る。

8月10日(木) 真間周辺 集合場所【国府台駅改札前】  
真間のつぎ橋や弘法寺などを巡る。

両日とも10:00～正午頃まで

対象：小学校3年生以上(原則として保護者同伴)

人数：それぞれ20名程度

持ち物：筆記用具・水筒・汗拭きタオル・カメラ等

## ◇昔の洗濯体験

洗たく板やたらいを使って、昔の洗たくの仕方を体験。洗たく機と比べてみよう。めずらしい手回し洗たく機での洗たく体験もできます。

日時：7月29日(土) 午前9:30～正午

対象：小学生以上(保護者同伴可)

人数：10名程度

持ち物：手ぬぐい(洗濯用)・水筒・汗拭きタオル等

※詳しくは申し込みの際にお伝えします。



## 申し込み方法

どちらも歴史博物館へ電話(373-6351)または、歴史博物館窓口で受け付けています。【歴史博物館】

## 学校を美しく！ Part2 花ボランティアの取組

5月1日(月)、福栄小学校の環境委員会の5・6年生の児童12名が、ボランティア活動をされている武田さんと一緒に、花の苗や種を植えました。フランネル草やハマナデシコ、ヒマワリなど種類も豊富です。子供たちは、プランターに苗と苗の間隔をとりながら植え方を教わると、小さな苗の根を傷つけないようにそっと苗を持ちながら植えていました。

福栄小学校で花のボランティアの取組が始まって、およそ15年。「2年生の時に、落花生やサツマイモの育て方を教わったことがあります」と話す子供たちの言葉からも、

地域に根差した活動が継続されていることがわかります。

子供たちはプランターを何度も運んだり、花の名札を書いたりと意欲的に活動していました。「子供たちはきれいに咲く花を見ると、きっと心が和むと思う」と話す武田さんのような、地域のボランティアの方々が、学校を支える力の一つになっています。【教育センター】



市川市青少年相談員は、子供たちと共に喜び、共に語り、共に行動する事で地域の青少年健全育成推進の担い手として、子供たちが元気に明るく成長していくためのお手伝いをしています。

スポーツ、野外活動等を通じた体験学習等の促進、ボランティア活動等社会参加活動の推進、また、他の青少年団体と協力し地域活動活性化の促進など、幅広い青少年健全育成活動を行っています。

様々な活動の中でも人気の行事である「いちかわ子ども村」について紹介します。

この行事は団体生活の中で協力することがいかに大切であるかを体験してもらうもので、市内在住・在校の小学校4～6年生を対象に、毎年夏休みに市川市少年自然の家に宿泊する1泊2日のキャンプです。

## 様々な感動を「いちかわ子ども村」子供たちへ

今年は、7月22日(土)、23日(日)に「広げよう！友達のWA」をテーマに、初日はクラフトやスポーツゲーム、夕食は野外炊事で協力してカレーライス作り、夜はキャンプファイヤーで楽しい時間を過ごします。2日目は早起き



6月4日(日)、市内の小学校4年生から6年生が参加する年間5回の自然体験学習のプログラム「チャレンジャー・スクール」が始まりました。昆虫採集やたき火、ごはん作り、宿泊体験など、少年自然の家が主催する事業です。



## 体験で自分磨き 「チャレンジャー・スクール」

4日(日)の第1回目は「仲よくなろう科」として、自然や友達を知り、仲よくなろうという目当てで行いました。グループになって座った直後は、初対面同士なかなか会話もできない様子でしたが、コマ地図を頼りに行う「ネイチャーウォークラリー」をして一緒に進むべき方向を悩んだり、みんなで指令をクリアしたりする時間を過ごすことで、少しずつ打ち解けていきました。午後の「梨の木ペンダント」作りでは、「会員証を作ろう」ということで、思い思いの図案を梨の木に描き、オリジナルの作品を楽しみながら仕上げていました。参加した児童からは、「班の仲間と力を合わせて仲よくなれた」「友達と地図を見ながら探るのが冒険みたいで面白かった」「参加するまではドキドキしていたけれど、参加してみて、とても楽しかった。次回が今から楽しみ」「自分だけのペンダントが作れてよかった」などという意見が多数聞かれました。

第2回目は宿泊があり、また一つ「チャレンジ」することが増えます。様々な学校から通ってくる仲間と、思い通りにならないことや不自由な体験も一緒に乗り越え、また自然の美しさや楽しさも一緒に味わってほしいと思います。

【青少年育成課】

## 子供にかかわる相談は、ここでできます！

### ◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336 火～土(午前9時～午後5時)

対象：3歳～中学校3年生

様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。



### ◆ほっとホットと訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362 火～金(午後0時30分～午後5時)

対象：小学校1年生～中学校3年生

不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。

### ◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月～金(午前9時～午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.chiba.jp

対象：小学校1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人の相談も可能です。【教育センター】

をして昆虫観察。前日にバナナトラップを仕掛けた木にカブトムシやクワガタがいるかドキドキしながら見に行きます。

そして朝食、掃除を終えた後、外で思いっきり水遊びをします。

昨年度参加した児童の保護者からは「子ども村での事を興奮しながら聞かせてくれて、来年も絶対参加したい」と話していた。「翌日早速カレーライスを作ってくれた」「兄弟に対して優しくなった」などの感想をいただきました。

自分で考えながら行動し、違う学校・違う学年の仲間と協力しながら、普段とは違う体験ができるいちかわ子ども村は、家族の大切さを再確認したり、新しい仲間との絆を深めるなど、子供たちがいっそうたくましく成長する絶好の機会になると思います。

【青少年育成課】